

製品名: GLP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80536**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	GLP
別名	GLP
遺伝子 ID	79813.0
SwissProt ID	Q9H9B1
免疫原	大腸菌で発現した GLP の精製された組み換え断片。

背景

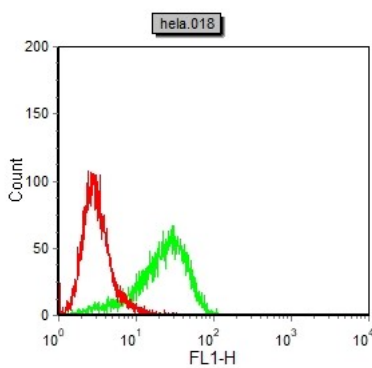
グルカゴン様ペプチド-1 (GLP-1) は、摂取した栄養素に反応して腸内分泌 L 細胞から分泌されるインクレチンホルモンです。密接に関連したペプチドであるグルカゴン様ペプチド (GLP-1) とグルカゴンは、血糖値に対して相反する作用を及ぼします。GLP-1 は膵

臓においてグルコース依存性のインスリン分泌を誘導するのに対し、グルカゴンは肝臓において糖新生とグリコーゲン分解を促進します。グルカゴンは、膵臓α細胞において、大きな前駆体であるプログルカゴンから組織特異的に分解されます。GLP-1 作動薬とグルカゴン拮抗薬の両方として作用するハイブリッドペプチドが発見されれば、2型糖尿病治療への新たなアプローチが期待されます。

研究分野

-

画像データ



GLP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。